

J A S 構造材個別実証支援事業申請書

一般社団法人全国木材組合連合会

会長 鈴木 和雄 殿

宣言事業者 No

会社名

代表者名

印

当社は、下記物件について個別実証支援事業に申請します。

(1) 物件情報

| | | | | | | | |
|-----------------------------|--------------|-----|--------|----------------|-----|-------|--|
| 物件名 | | | | | | | |
| 住所 | | | | | | | |
| 事業担当者 | | | e-mail | | | | |
| Tel | | | Fax | | | | |
| 3 件以上を申請する者 | クリーンウッド法登録番号 | | | | | 登録年月日 | |
| 助成対象の階数 (○をつける) | 1 F | 2 F | 3 F | 4 F | 5 F | その他の階 | |
| 助成対象の面積 (平米) | | | | | | | |
| 助成対象となる J A S 構造材の建て方完了予定年月 | | | | | | | |
| ア) 総木材使用予定量 (注 1) | | | | m ³ | | | |
| イ) ア)のうち、林産物 J A S 使用予定量 | | | | m ³ | | | |

(2) 助成対象木材 (注 2)

| 木材使用量 (m ³) | 機械等級 | 目視等級 | 2 × 4 | C L T | その他林産物 J A S |
|-------------------------|------|------|-------|-------|-----------------|
| イ)のうち、助成対象木材使用量 | | | | | |
| エ) ウ)うち国産材使用量 | | | | | |

※共同申請者の有無 あり なし (ありの場合は様式 1 号 (共同申請) も要提出)

注 1 : 総木材使用量とは構造材以外も含む木材使用量 (予定数量含む)

注 2 : 機械等級とは機械等級区分構造用製材、目視等級とは目視等級区分構造用製材、2 × 4 とは 2 × 4 工法構造用製材を意味する。

- ※付属資料
- ・助成対象の林産物 J A S が色付けされ判別可能となった平面図 (部屋の用途が書かれたもの)、立面図、軸組図、梁伏せ図等 (その他林産物 J A S への色付けも必要)
 - ・建築基準法第 6 条の規定に建築確認申請書の並びにその確認済証のコピー、又は建築基準法第 15 条第 1 項の規定による建築工事届のコピー
 - ・助成金振込先の銀行口座情報
 - ・J A S 林産物の予定使用量、予定調達費がわかる木拾い表

様式 1 号 (共同申請)

共同申請者

連携①

宣言事業者No

会社名

代表者名

印

連携②

宣言事業者No

会社名

代表者名

印

連携③

宣言事業者No

会社名

代表者名

印

連携④

宣言事業者No

会社名

代表者名

印

連携⑤

宣言事業者No

会社名

代表者名

印

連携⑥

宣言事業者No

会社名

代表者名

印

様式1号提出物チェックシート

- 提出する図面について、林産物JASが判別できるよう色付けされ、添付されているか。
- 使用予定のJAS構造材の種類（機械等級区分構造用製材、目視等級区分構造用製材、2×4製材、CLT）が明記され、添付されているか。
- 申請する建物に使用予定の林産物JASの予定使用量及び予定調達費がわかる木拾い表が添付されているか。
- 申請にある住所が地番となっている場合、その旨が明記されているか。